

平成22年度FD推進会議（専任教職員向け）
キャリアガイダンスと教職員の職能開発
～学生の自立を支援するFDとSD～
に参加して

教育開発支援機構 FD推進センター
センター長 川上 忠重

この度、日本私立大学連盟の教育研究委員会委員を務める関係で平成22年6月26日（土）に、本学市ヶ谷キャンパスで開催された平成22年度FD推進会議（専任教職員向け）キャリアガイダンスと教職員の職能開発～学生の自立を支援するFDとSD～に参加する機会があり、FD関係も含まれているので内容を簡単に紹介したい。

本企画は、私立大学の教育活動と私立大学で学ぶ学生の質向上のために、「教職員の職能開発」の組織的推進方策について教員と職員が共に討論し、各日本私立大学連盟の加盟大学におけるFD及びSDのリーダー育成の一助に資することを目的としている。

基調講演はテーマが2つ設けられており、テーマ①は「FDとキャリアガイダンス～SDとの接点を求めて～」として、同志社大学文学部教授：圓月勝博氏およびテーマ②は「SDとキャリアガイダンス～FDとの接点を求めて～」として、立命館大学キャリアセンター次長：浅野昭人氏であった。

両講演の概要であるが、テーマ①は、教職員の職能開発について、FD、SDの定義から始まり、FDとSDの接点としてのキャリア教育を、「学士力」を①知識・理解（認知的領域）、②汎用的技能（技能的領域）、③態度・志向性（情動的領域）、④統合的な学習経験と創造的思考力の観点から見つめ直すことにより、FDとSDの接点としてのキャリア教育を考えることの重要性、また、キャリア教育の課題と事例紹介を、平成19年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム同志社大学採択取組：アクションプラン主導型発見的キャリア教育を事例紹介

として、「一日インターンシップ」なども紹介された。

テーマ②では、立命館大学におけるキャリア教育の目的、インターンシップの基本理念、全学型キャリア教育の体系およびキャリア形成支援の基本スタンス等の紹介の後、講演者の経験も踏まえた就職活動時に求められる能力や進路・就職問題を全学課題とするための設定項目やプロセスを講演いただいた。

基調講演を話題提供とし、参加者をA～Lの12グループに分けて「社会的及び職業的自立に関する指導等（キャリアガイダンス）」と「教員の職能開発（FD）及び職員の職能開発（SD）の組織的推進について」のグループ討議が行われた。同じ大学の教員・職員は、同一グループの配属にはなっておらず、各グループ全員が、それぞれの大学の立ち位置からおのおのテーマについて活発な意見交換が行われた。大学の規模や地域性による差異は当然あるが、教員と職員が協働して、いかに学生の自立を支援するFDとSDが可能であるか、あつという間の今後の指針となりうる情報を含んだ2時間の議論であった。

グループ討議の後、参加者全員参加により、各グループの討議内容が報告された。

すでに全国の大学の90%以上で、FD関係の委員会やセンター・機構等が発足し、それに伴い、SDに関する検討も活発化している。教員と職員がともに教育のプロとして語り合う場が、今後さらに提供され、大学間連携の1つとして発展することを切に願っている。

以上